

SUN

oka
niv. ews

特集1 大教室棟、タゴール広場の紹介

待望の大教室棟がついに完成!
学生の憩いの場「タゴール広場」が完成!

特集2 世界市民養成プログラム

世界を目指す創大生に新たなプログラムがスタート!
グローバル・シティズンシップ・
プログラムを開設!

特集3 図書館と全学読書運動

創大図書館は読書支援図書館!
全学読書運動(SBW)の紹介





待望の大教室棟がついに完成!

Long-Awaited Lecture Hall Completed

「学生第一」の学習環境がさらに充実! 希望あふれる「大教室棟」と国際交流の舞台となる「タゴール広場」がついに完成しました。大教室棟は、哲学の道沿いに建設され、その堂々たる姿をあらわしています。また、タゴール広場は、インドの詩聖・

タゴールのブロンズ像が見守る中、自由に学生らが交流できる語らいの場として完成。9月8日には、学生を中心に盛大にオープニングセレモニーが行われ、教員・職員・学生が一体となってその完成を喜び合いました。

1階 大食堂



448席を擁する大食堂は、食事だけでなく勉強や学生同士の語らいの場としても最適。広々とした空間に、創立者の撮影された写真が飾られ、ゆったりと過ごせます。屋外のテラスには120席あり、木々の向こうに池田記念講堂や短大校舎が見え、自然豊かな創価大学を満喫できます。また、厨房には、オール電化式機器とエコキュート給湯方式を採用し、環境に配慮した設備が整えられました。



一新されたメニューの詳細はP 19に載ってるデス! 要チェックデス!



2階 大教室



S201教室



2階へ続く階段 天井が高く、開放感のある空間。



S202教室

S201教室は493席、S202教室は369席あり、マルチメディアシステムによる音響映像システムを配備しています。

扇型の教室は、自然換気システム(春や秋の爽やかな外気を積極的に取り入れ、空調に必要なエネルギーを軽減する仕組み)により、自然の風が通り抜け、地球にも人にも優しいつくりになっています。また、とても明るい雰囲気となっており、勉学には最高の空間です。



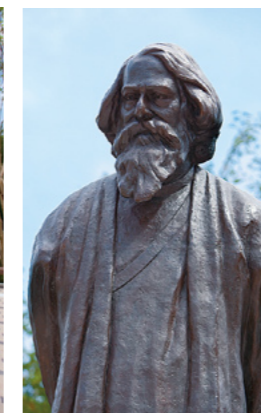
2階ロビー 自然光が木々を通してふりそそぐ。

ロビーから見える景色は絶景デス! 癒されるデス~。



学生の憩いの場「タゴール広場」が完成!

Completion of Tagore Square, a place of relaxation for students



大教室棟、国際交流センター、教職大学院棟に囲まれた広場の中央には、アジアで初めてノーベル文学賞を受賞した、インドの詩聖ラビンドラナート・タゴールの像が学生を見つめています。高さ約3メートルのこのタゴール像は、インド文化関係評議会(ICCR)より寄贈されました。創価大学を訪れたICCRのデサイ長官(当時)が、「アジアの象徴として、タゴールの像をぜひ創価大学に」と申し出たことに端を発します。

台座には、創立者より贈られた「人々の間に結合をもたらし、平和と調和を築くことこそが、文明の使命である」とのタゴールの言葉が刻まれています。

本学創立者は、タゴール平和賞を受賞しているほか、タゴールが創立したタゴール国際大学、また、タゴールの生誕地にあるラビンドラ・パリティ大学より名誉博士号を受章しています。



9月8日、オープニングセレモニーを開催。

オープニングセレモニーの様子

学生からは「大学で一番素敵な教室!」「タゴール広場で仲間と語り合いたい!」等の喜びの声が寄せられました。

世界を目指す創大生に新たなプログラムがスタート! グローバル・シティズンシップ・プログラムを開設!!

Global Citizenship Program is established

平成22年(2010年)4月より『グローバル・シティズンシップ・プログラム(GCP)』を開設します。

将来、世界を舞台に活躍したい、また、『人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ』との建学の精神のままに、世界平和を強い意志をもって実現していこうという学生向けのカリキュラム

で、英語、数理能力トレーニングを中心に4年間をかけて受講し、世界市民(Global Citizenship)として必要とされる資質を養成します。建学の精神を具現化し、世界へ羽ばたく人材を輩出する創価大学の新たな挑戦です。

GCPが求める人材像

将来、国際社会(国際的企業、国際協力機関など)を舞台に活躍したい、海外一流大学院に進学したい、国家公務員や国内一流企業を目指したい—そうした強い志をもつ学生を全力で応援するのがこのプログラムです。

GCPで学ぶ学生には、学問探究への意欲と主体性がより強く求められます。実際に通常よりも多く科目履修を課しますし、コミュニケーションツールのひとつである語学力(英語)にも力点を置いています。さらにこうした人材は、教員と学生、学生同士の深いつながりの中から生まれてくると考えていますので、教員や学生同士の真剣かつ人間的な練磨、そして学問面での切磋琢磨を期待しています。私たちはGCPに創価大学が有する優れた教育資源を提供し、建学の精神を具現化する世界市民を育成しゆくプログラムとしていきたいと考えています。



GCPの特徴

GCPは、将来国際社会等での活躍を目指す学生に、既存の教育課程とはまったく異なる科目を提供するものです。以下の5つの特徴を有しています。

それぞれの学部に所属したまま参加できる全学部横断型

GCPは創価大学の全ての学部を対象に学生を選抜し、入学したそれぞれの学部に所属したままの参加となります。また、本学の一組織や一部の教員だけがGCPに関わるのではなく、創価大学全体で皆さんをサポートします。

徹底した英語教育と奨学金を給付しての海外短期研修

GCPでは独自の集中授業で英語を徹底して学び、高度なコミュニケーション能力と、海外大学院留学レベルの英語力の習得を目指します。また、プログラム受講者全員に、海外研修費用として奨学金(返還不要)が給付され、全員が海外短期研修に参加します。



社会システムを読み解く力—数理能力をトレーニング

社会の現状を把握し、意思決定を行うために必要なデータ分析能力を習得します。また、日々激しく変化する社会システム、経営システム、情報システムなどに立ち向かうため、種々の問題発見とその解決方法に関する数理学的基礎知識を身につけます。

少人数構成の独自ゼミにより多角的な能力を養成

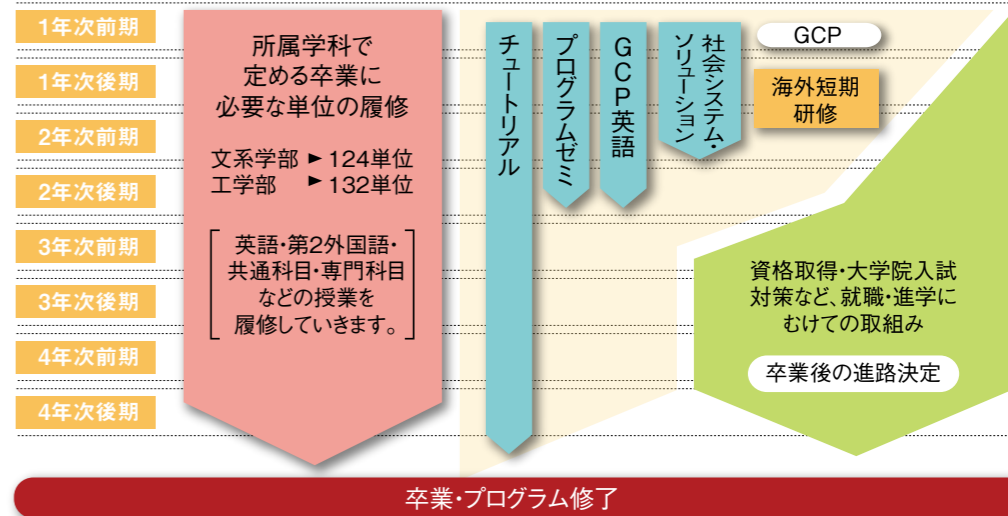
プログラムゼミでは、グローバルな視野とローカルな視点を併せ持ちながら、現代社会が直面するさまざまな課題を発見し、問題の解決策を自ら提案していくことのできる世界市民の資質を養っていきます。

4年間にわたる少人数制によるきめ細かい指導

教員一人あたり5~10名の少人数体制を組んで、週に一度の集まり(チュートリアル)や個別相談・指導等を通して、学生生活や進路を全力でサポートします。

入学から卒業までの流れ

GCPは、6学部(経済・経営・法・文・教育・工学部)に所属する学生を対象としています。したがって、GCPを受講する場合は、所属する学部が定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修することになります。プログラム修了に必要な単位を全て修得すると、卒業時に、所属学部の学位(学士号)のほか、プログラム修了認定証が授与されます。



出願資格

平成22年度入学試験(公募推薦入試・創価学園推薦入試・センター試験利用入試・一般入試)の合格者でGCPの受講を希望する者。

※GCPは、1年次から4年次までのトータルプログラムです。したがって途中年次からの受講はできません。

募集人員

30名
(ただし合格者が募集人員に満たない場合でも追加募集は行いません。)

グローバル・シティズンシップ・プログラム事務局

ホームページ <http://sgcp.soka.ac.jp> メールアドレス sgcp@soka.ac.jp TEL 042-691-8068 FAX 042-691-9303

お問い合わせ時間 【月・火・木曜日】9:00~18:30 / 【水・金曜日】9:00~17:00 / 【土曜日】9:00~12:00

創大図書館は読書支援図書館!

Soka University Library support Book-Reading campaign

全学読書運動(SBW)の紹介

Introduction of All-campus Book-Reading campaign, "Soka Book Wave"



創価大学図書館は、利用者(学生、教職員など)へのサービスを最大に重視し、多くのサービス改善に取り組んでいます。カウンター対応の改善、貸出・返却の利便性の強化、企画展示や今日の一書などの推薦図書紹介を行い、学生の学習の場、憩いの場として発展を続けています。これらの一つひとつが着実に実を結び、この5年間で図書館への来館者数は約6万人、貸出冊数は約3万冊も増加しました。

この増加の大きな要因として、従来の図書館サービス以外に、創価大学・創価女子短期大学全体で行っている、全学読書運動「Soka Book Wave(SBW)」が挙げられます。

年度	館外貸出冊数	入館者数
2004	126,119冊	446,593名
2005	134,000冊	457,827名
2006	133,435冊	469,822名
2007	137,748冊	477,874名
2008	157,509冊	507,340名

全学読書運動「Soka Book Wave」

創価大学、創価女子短期大学の大きな伝統となってきたSBW。2004年から始まったこの運動は、年々内容も充実し、2,000名以上の学生が参加する一大学生運動です。

年度	テーマ	登録者数	感想文件数
2005	拓こう 君の心を 開こう この一書	約1,800名	—
2006	始めよう! 君が主役の冒険記 本は知識の宝島	2,318名	6,022件
2007	今、読まずしていつ読むか 世界が待ってる! 磨きぬかれた君の英知を!!	2,098名	6,768件
2008	心に躍動を!! 今すぐ行こう! 本が持つ 未知の世界へ	2,123名	10,085件
2009	Reader Ship!! さあ! ページをひらき 読書の大海原へ	受付中	受付中

「Soka Book Wave」の由来

創立者の折々のスピーチや日々の学生生活の中で「読書」の大切さを強く実感している創大生、短大生は、寮やクラブなどで盛んに読書運動を行っていました。各団体ごとに行われていた読書運動は次第に学生全体で取り組もうという気運が高まってきました。折しも創立者が2004年1月に中央図書館を

訪問され、学生に読書についての箴言を贈られました。そして、創立者の「活字文化復興提言」が契機となり、学生団体・学生有志と図書館が協議し、共同して開始したのがSBWです。その後も学生の読書に対する情熱が大きく高まり、これまで発展を続けてきました。

「Soka Book Wave」の内容

SBWは下記の流れに沿って進めます。



30冊までは200文字から300文字の感想文とショートレビュー、31冊目から50冊目までは、1,600文字から2,000文字の書評を書くことになっています。一度読んだ(インプット)内容を文字として書く(アウトプット)ことが、内容理解や語彙力、文章

力の向上に役立つことはさまざまな場で論じられています。またこれらの工程を全てインターネットで行うため、非常に効率が高く、また自分のページに感想文や書評が蓄積され、インターネット上の読書ノートとなるメリットもあります。

参加者の声(参加動機)

元々は活字が苦手な私ですが、2008年初めてSBWに参加し、目的感を持って積極的に読書に挑戦することができました。2009年は更に目標も高く、読書に励んでいきたいと思っています。(人間学科2年 女子学生)

自分の読書力向上のためです。本を読むだけで終わるのではなく、読んだ本に対して考察し、自分なりの考えを持つことは非常に大切だと思います。私は、今年でエントリー3年目ですが、感想文を提出することで、自ら考えることを学びました。より高い価値を見出すためにも、想像力を最大限活かして、読書に挑戦していきたいと思っています。(経済学科3年 男子学生)

「Soka Book Wave」のさまざまな取組み

Soka Reading Project

Doku★Stuラリー

グループを作って仲間と触発しながら進める読書運動です。今年度から始まった企画で、約50のグループが切磋琢磨しながら読書に挑戦しています。

書評講習会

教育・学習活動支援センター(CETL)と図書館の共催で、書評の書き方講習会を開催しています。この講習会は、書評とは何かについて学び、自ら書評を書くことを通して読解力、表現力・文章力、論理的思考力などを培うことを目指します。そして、最終的にはSBWの読書力認定で合格レベルに達する力が身につけられることを目標としています。

読書力認定制度

本学在籍中において「読書」を積極的に行い、読解力や文章力等の能力が向上した証として、読書力認定審査委員会が「読書力認定証」を授与しています。

Soka Reading Projectとは、SBWを推進している学生の有志団体です。

SRPあいさつ

私たちSoka Reading Project(SRP)は、大学や社会に読書の大波を起こすことで「人の心」を豊かに動かしていこうと日々活動しています。大学内では、毎月の企画展示や特別講演会、創大祭での読書展などさまざまな企画を通して、学生時代に一冊でも多く感動する本と出会っていただきたいと思い活動しています。また、昨年度は八王子市学園都市センターでも読書展を開催し、ダイナミックな読書の推進活動ができました。今後も私たちSRPは、活字文化復興のためにさまざまな活動に挑戦していきます!



進化する図書館

今夏、中央図書館では新たに視聴覚コーナーの設置、ブラウジングルームの家具入れ替え、並びに床の張り替えを行いました。視聴覚コーナーには37型液晶テレビを設置したグループ閲覧コーナーを2ブース、また、個人閲覧コーナーには、20型液晶テレビを12台設置いたしました。これに合わせ、海外人気テレビドラマを約20点購入しました。

ブラウジングルームは学内でもトップ5に数えられる人気スポットです。利用者の皆さんにより快適に過ごしていただけるよう内装を一新し、雰囲気が一層明るくなりました。



OPEN CAMPUS 特集



7月19日(日)、26日(日)、8月23日(日)、9月20日(日)に創価大学・創価女子短期大学のオープンキャンパスを盛大に開催いたしました。

1 参加者の声

相談コーナーで、先輩や先生がしっかりと質問に答えてくれたり、「頑張ってる」という激励の言葉をいただいている、合格に向かって頑張ろうと思いました。今日、創価大学に来て本当によかったと思います。ありがとうございました。

(福岡県 高校3年生 女子)

2 参加者の声

キャンパスの設備と雰囲気がすごくよかったです。体験授業も大変楽しく、もう一度受けたいと思いました。また、歓迎フェスティバルもすばらしい内容で、特に体験談に勇気をもらいました。

(東京都 高校3年生 男子)

3 参加者の声

先輩方がとても親切に案内や説明をしてくださったのが印象に残っています。合格体験談を聞いたり、大学の雰囲気を感じて、「創価大学に絶対入学したい!!」という気持ちが大きくなりました。1日とても楽しかったです。ありがとうございました。

(群馬県 高校3年生 女子)

創立者の言葉が幾度となく、自分を奮い立たせてくれました

私は、大学進学には程遠い、工業高校の自動車科に通っていました。そんな私が創価大学受験を決意したのは高校3年生の夏でした。軽井沢で働く兄から、「夏休みに仕事を手伝いにこないか」と言われ、行ってみるとそこには現役の創大生が働きにきていて、その面倒見の良さにとても驚きました。そこで先輩たちから「自分を強い人間へと成長させることができるから絶対に創価大学に行ったほうが良い」と勧められ、創大に行ってみようという思いが自分の中に芽生え始めました。

しかし、今まで進学のための勉強をしていなかったうえに勉強をする習慣がなかった私は、机に向かうことが苦痛でした。何を勉強していいのかわからない状態も続き、結局、高校卒業の春には合格を勝ち取ることができませんでした。覚悟していた浪人生活では、一日、12時間の勉強を

やり抜きました。浪人生活は毎日が自分との戦いで、何度も自分の弱さに負けそうになりましたが、創立者の言葉が幾度となく、自分を奮い立たせてくれました。模試の結果はほとんどがE判定でしたが、「落ち込んでいても仕方がない、最後は絶対勝つんだ」と確信して勉強しました。今思えば、私が頑張れたのは、両親をはじめ、応援して下さる人たちに喜んでほしいという一点があったからだと思います。



渡邊 昌明さん
創価大学 教育学科 1年

そして迎えた合格発表日。なんと4学科で合格を勝ち取ることが出来ました。2年ほど前には勉強に縁がなかった私でしたが、創大生との出会いが人生を180度変え、現在このようにみなさんの前で体験発表するまでになりました。自分の無限の可能性を信じ、努力し、素晴らしい創価大学と一緒に学びましょう。

面接対策として友人や多くの先生方にアドバイスを頂きました

私は群馬県の商業高校の出身で、高校時代は毎日、簿記やコンピュータに関する勉強をしていました。そんな私でしたが、高校3年の春、進路を決定する時期になると、進学を希望している友人の話や学校の先生の話聞くにつれて、もっと学びたいと思うようになりました。

昨年7月に行われたオープンキャンパスで短大の中を案内して下さった先輩の親切な対応や相談コーナーでの受験についてのわかりやすいアドバイスに、私も絶対に合格を勝ち取り、先輩方のように聡明で輝く女性へと成長していきたいと強く決意しました。

夏休みに入ってから公募推薦入試の試験内容である「小論文」と「面接試験」の対策に力を入れました。特に面接対策として友人や多くの先生方に面接の練習を依頼し、アドバイスを頂きました。

一方で11月の公募推薦入試の当日は高校の文化祭が重なっていて、時には文化祭の活動と勉強の両立がうまく

できず、弱い自分と葛藤する日もありました。

しかし、そんな時は創立者である池田先生の著作に触れ、又、短大の先輩に相談にのってもらい、「よし頑張ろう」と決意することができました。

そして迎えた試験当日。自分の勉強してきた努力を信じ、全力で臨むことができ、無事、現代ビジネス学科の合格を勝ち取ることができました。

短大に入学して5ヶ月が経ちました。6月に行われたスポーツ大会では中心者の一人として運営に取り組み、創立者より数々の激励を頂きながら大成功のスポーツ大会にすることができました。

来年の春、皆さんと短大のキャンパスでお会いできることを心より願って私の話を終わります。最後まであきらめずに頑張ってください。本日は大変にありがとうございました。



甲原 和美さん
創価女子短期大学
現代ビジネス学科 1年

「何のため」その心が 創大生の強さの秘密です

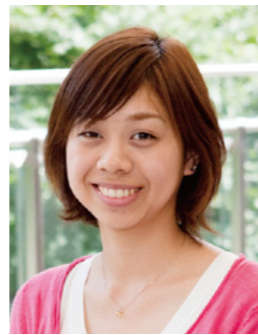
①私はAO入試で受験しました。2年生まで部活漬けでほとんど勉強していなかったので、3年生の夏休みは毎日10時間以上勉強しました。他大学とも悩みましたが、オープンキャンパスでの創大生の輝く笑顔に一瞬で魅了され受験を決意しました。

②語学の勉強に力を入れました。1年次からIP(インターナショナル・プログラム)コースに入り、授業はすべて英語、教授もアメリカ人という環境で大きく英語力を伸ばすことができました。2年次にアメリカのデラウェア大学に交換留学をさせて頂き、自身の価値観が大きく変わりました。また、留学中に経済学部で前・後期共に成績優秀者に選ばれました。3年次には中国で1ヶ月インターンシップを行い、帰国後はゼミの仲間と全国論文大会に出場しました。現在はキャリアサポートスタッフとして、

また創価大学ワールド会の中心メンバーとして、後輩をサポートさせて頂いています。

③株式会社東芝に内定を頂きました。キャリアセンターの方々、OB・OG、同期の仲間、そして何より創立者に本当に支えて頂いた就職活動でした。あるOBの方は面接前日に同僚の方を5人集めてくださり、母校をそして後輩を想う気持ちに胸一杯になりました。この想いに応えたいと無我夢中で選考に臨んだ結果、株式会社東芝に内定を頂くことができました。

④今の皆さんは無数の可能性を持っています。「何のため」という目的意識を常に忘れず、挑戦し続けてください！一緒に夢を叶えましょう！



宮木 淳子 さん

創価大学
経済学部経済学科 4年

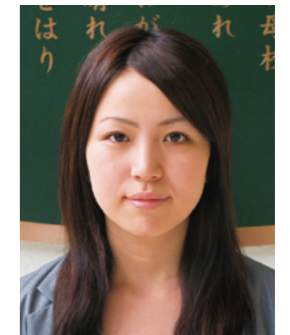
短大スピリットを胸に 世界へ羽ばたく短大生

①私は高校時代、吹奏楽部に熱中し、受験勉強を本格的に始めたのは高校3年生の夏休みでした。11月の創大の公募推薦入試の合格を目指していましたが、残念ながら不合格となりました。勉強が手につかないくらいかなり落ち込みました。しかし家族の応援のおかげで立ち直ることができ、2月の一般入試に向けての勉強に切り替えることができました。その後は毎日、高校の補講と塾での勉強をやり抜いて一般入試で合格することができました。

②学生時代に頑張ったことは寮生活です。約100人という団体生活の中で相手を思いやること、自分ととことん向き合うことを学びました。多くの友人と深く関わることができ、また信頼できる素晴らしい先輩にも出会え、本当に宝の日々でした。その中で両親への感謝の気持ちも強くなり、親孝行の大切さも学びました。また資格試験にも取り組み、秘書検定準1級や英検2級を取得することもできました。

③進路はUターンを希望していました。私の大好きな関西を支えている企業に入りたいと思い、関西電力株式会社に挑戦しました。私は「家を出たらどこに行っても自分が短大生の代表なんだ」と思い、面接で待機している時も、会社の中を歩いている時もあいさつや身だしなみを心がけて面接試験に臨んでいきました。毎回の面接ではたとえ落ちたとしても「やり切った」と言えるような強い気持ちで臨みました。結果として不況にもかかわらず希望通り、関西電力株式会社から内定を頂くことができました。これも短大での薫陶のおかげだと思います。

④いろいろな選択肢がある中で、どちらに進めばよいか分からないということがあると思います。でも必ずあなたしか進めない道があります。だからまずは目先にやらなければならないことに取り組んでください。あと勉強する時は勉強する！休む時は休む！というようにケジメをつけて全力で毎日を過ごしてください。応援しています!!



高島 史恵 さん

創価女子短期大学
現代ビジネス学科 2年

創大には“世界”が溢れている! 最高の仲間との出会い

①一般入試で受験しました。当時は国公立の受験も並行していたため、毎日勉強に時間を費やしていたのを思い出します。特に文系を選択したにもかかわらず、国語が苦手だったため、必死に過去問を解いていました。3月中旬まで受験勉強に食らいついたおかげで、培った忍耐力を大学生活に活かすことができました。

②日本人と留学生と一緒に生活する室友寮でボランティアスタッフを1年間やり通したことです。私が1・2年次に住んだ室友寮には20カ国・40人ほどの留学生も共に暮らしているので、日々の生活の中で海外の友人と交流することができ、今でもたびたび海外から電話がくるほどです。

③私はカナダ私費留学を終えた12月中旬から就職活動を始めました。最初は周囲に追いつけとばかり一人で活動して焦っていました。しかし、2月に行われたキャリアセンター

主催の「就活合宿」への参加を機に、仲間と就活チームを結成して共に就職活動を行うようになりました。仲間同士激しく言い合うこともありましたが、本気になる仲間がいたからこそ、企業の面接でも自分のありのままを表現することができ、第一志望であった総合商社・丸紅から内定をもらうことができました。

④今、受験生の皆さんにとっては人生で最も勉強をする時であり、大変にづらいかもしれません。でも同時に大きなチャンスでもあるのです。思う存分に力を出していけば、必ず何らかの形でその努力が報われることを経験できるでしょう。大学に入学したら何をしたいのか、卒業したら何をしたいのか。常に一歩先まで考えていくことが大きな受験勉強の原動力になってくれるでしょう。あなたの夢を実現する土台作りのために、ぜひ創価大学に入学できるよう挑戦し続けてください!



東 健太 さん

創価大学
文学部外国語学科中国語専攻 4年

ゴートウスクール・ドット・コム(株)作成

学習アドバイス【創大一般入試】

平成21年度一般入試では、どの日程も、発音・語彙・文法・英作文・読解が満遍なく出題されているので、偏りなく英語の勉強を進める必要がある。

まず基本となるのは、やはり語彙力・文法力であろう。単語を覚えるのに近道はなく、どんな学生でも地道に目と耳と手をフルに使って覚えていくしかない。

文法の勉強についてはまず、一冊の文法書を選び、完全に理解できないまでも通読してみるとよい。その上で、いくつかの文法問題集を演習すれば、以前より見通しよく問題に当たれるはずである。あとは間違った点を文法の参考書で確認し、何度も演習を重ねれば十分である。

整序英作文は、決まった構文を問う出題が多いので、文法書の基本例文や英作文のテキストの例文を意識して覚えるようにするとよい。

読解に関しては、一文一文を文法的に細かく分析して和訳していく精読の勉強より、まとまった分量の英文をある程度のスピードで読み進む「直読直解」の勉強が必要になる。その際、細かい文法事項でわからない部分や知らない単語があっても気にせず、前から後ろに向かって読み返さずに読み進める習慣を身につける必要がある。

Explore the world and Create YOUR FUTURE!!

世界を見て、自分の未来を創ろう

世界へ広がる交流大学

本学では世界44カ国・地域、107大学(2009年9月30日現在)と交流協定を結び、交換・推薦留学や夏休みと春休みに行われる短期語学研修などで、多くの学生たちが国際交流を体験しています。

交流大学の紹介

インドネシア大学

University of Indonesia

インドネシア大学は首都ジャカルタにある同国最古の大学で、世界トップランクの大学として名をつらねる総合大学です。学部は医学部、歯科医学部、数学自然科学部、法学部、経済学部、文学部、心理学部、社会政治学部、公衆衛生学部等の12学部からなり、学生数は約3万6,000名に及びます。そして卒業生の多くは、国の指導者等の立場となり世界各地で活躍しております。

創価大学とは1984年4月に交流協定を締結し、以来、交換留学制度による学生交流、歴代の総長等の創大への訪問など、現在も活発に交流活動が行われています。これまでインドネシア大学へは24名の交換留学



生が学び、反対に同大学から創大へは長・短期留学を合わせて82名の留学生在が学んでおります。他の大学においても、日本をはじめ、韓国、中国、東南アジアの国々や台湾、トルコ、インド、カナダ、アメリカ、オーストラリア等、世界中からの留学生在がインドネシア大学で学んでいます。

交換留学記

経済学部経済学科 35期 北原 麻里

私は昨年8月から1年間、創価大学の交換留学制度でインドネシア大学へ留学させて頂きました。私の留学動機は、東南アジアの文化・貧困問題に興味を持っていたことから、現地の人と同じ生活を体験し、様々な地域に住む人から直接話を聞きたいと考えたからです。

人口約2億3800万人、約490民族、約250種の言語という、多種多様な文化・習慣を持つ人々が暮らすインドネシア。公用語インドネシア語を学べば、日本の約5倍もの国土の人々とコミュニケーションすることができるのです。私は学生として出来ることはすべてやりたいと思ひ、友人と一緒に断食や結婚式、葬式に参加するなど、積極的にインドネシアの文化を体験するようにしました。留学期間中、価値観・習慣の全く異なる人々と一緒に生活をしたこと、日常的に目にする貧富の格差の中で貧し



くても楽しく仲良く暮らす家族、そして素晴らしい伝統文化に触れたことで、少しでも視野が広がったと感じています。語学と文化を学べると共に様々な体験ができるインドネシア大学へ、たくさんの方に留学してほしいと思っています。今回の留学を通して、創立者が交換留学の道を拓いてくださったことに大変感謝しております。今後も留学で得た体験をバネにして、人生を勝利して参ります。

短大生が全国大学対抗簿記大会で優勝!!

創価女子短期大学 現代ビジネス学科

大野ゼミナール 准教授 大野 智弘

春季全国大学対抗簿記大会・大宮会場2級の部(日商簿記検定2級レベル)での団体戦優勝、大変におめでとうございます。優勝が決まった時の感想はいかがでしたか?

ありがとうございます。優勝が決まった瞬間、学生たちの表情は、信じられない気持ちと歓喜とが複雑に入り混じり、体が震える程でした。2009年春の簿記大会は、全国116大学250チームが参加しています。このうち、短大で出場したのは創価女子短大を含めたたった2校だけです。その短大生が、2年生の春に2級の部で優勝することなど、誰も予想できなかったと思います。

大野ゼミは日ごろ、どのような研究(学習)をされていますか?

ゼミのテーマは「財務諸表論研究」です。財務諸表を



使って、企業の経営分析を行います。大野ゼミでは、簿記の勉強はあくまでも財務諸表論研究の基礎学習という位置付けです。したがって、授業としてのゼミでは簿記の勉強はしていません。週2回のサブゼミや学生の自主ゼミを通じて勉強しています。

今後の大野ゼミの目標があれば教えてください。

今は、具体的なものとして、次の2つの目標があります。ひとつは、11月に実施される秋の簿記大会で連覇することです。もうひとつは、ゼミの研究成果を社会に還元することです。毎年、経営分析した成果は卒業論文集にまとめています。今後は研究成果を分析した企業に見てもらい、何らかの形で役立てて頂ければと考えています。



SUBWAY(学生ホール2F)、人気のサンドBEST3発表!!

SUBWAY, "2nd floor of the Student Hall", announcement of top3 sale ranking for popular sand-wich

フレッシュでヘルシーな食材!! 学ホ2階で、毎日に野菜をはさもう! 今回は人気のサンドベスト3をご紹介します。



第1位

BLT

BACON LETTUCE TOMATO



第2位

チーズローストチキン



第3位

ケイジャンチキン

その他の人気メニュー

ラップの1位は、タンドリーチキンラップです。サブウェイならではの商品とサービスを今後とも提供してまいります。



タンドリーチキンラップ

ポテト

ツナサラダ

サブウェイクラブ

えびアボカド



「21世紀大学教育セミナー」全国3会場で開催

Seminar for "Higher-Education in the 21st Century" held at 3 locations across Japan

大学教育への関心が高まる中、本学と毎日新聞社の共催により、受験生や保護者を対象にした「21世紀大学教育セミナー」を全国3会場で開催しました(8月8日(土)福岡、9日(日)大阪、11日(火)札幌)。

福岡会場では岸井成格氏(毎日新聞特別編集委員)、大阪会場は近藤勝重氏(毎日新聞専門編集委員・元サンデー毎日編集長)、札幌会場は真田和義氏(MOTTAINAIキャンペーン事務局長)の3名の現役記者を講師に迎え、「なぜ大学で学ぶのか—大学時代の経験から今を考える」というテーマで

講演しました。また本学の山本英夫学長もそれぞれの会場で「創価大学の未来ビジョン—建学の第二ステージ」とのテーマで本学の特色をスライドなどを使って語りました。

各会場では、同時に進学相談会も開かれ、多数の学生や保護者が入試事務室の職員から説明を受ける光景が見られました。



夏期スクーリング

Division of Correspondence Education's Summer Session 2009

創価大学通信教育部の夏期スクーリングが8月9日(日)から23日(日)までの15日間開催され、1~3期を合わせて、海外17カ国・地域を含む約4,500人が参加しました。

8月18日(火)には、新世紀第9回「学光祭」が、「創大通教・第二章—学びの英雄たる君たちよ!『学的光』を放ちゆけ!!」とのテーマを掲げ開催。三浦実行委員長の宣言で開幕し、愛唱歌「ヒューマン・センチュリー」を参加者全員で合唱。

創立者 池田大作先生からメッセージがあり、「一人ももれなく、これ以上ないという希望と充実と張り合いを漲らせ、人生と社会の偉大な正義の勝利者として道を開いていってください」と、学びに徹する通教生に期待を寄せられました。



第37回 夏季大学講座

37th Summer Course

今夏、37回目を迎えた伝統の夏季大学講座が8月28日(金)から30日(日)の3日間開催されました。

さまざまな専門分野にわたる52講座に、多くの方々が一「日創大生」として、受講されました。

受講生の声

■講座番号16番

『創立者の「人間外交」を考える—1974年の訪中・訪ソを事例として—』

講師:経済学部 副学長補・教授 寺西 宏友

「内容もすごくわかりやすく池田先生の外交がすごく理解できました。楽しく有意義な時間を過ごさせて頂き、本当にありがとうございました。あと7カ月で70歳を迎えます。今回で14回目、最後にしようと思いましたが、また元気で健康であれば、来たいと思います。20回を目指して!(60代 女性)」

■講座番号40番

『“人間が大好きになる心理学”のすすめ!』

講師:教育学部 教授 鈎 治雄

「初めて参加しました。講義も一方的ではなく楽しく受講でき、あっという間でした。昼休みにも充分大学内を散策することができ、創価の素晴らしい環境で学べる大学生がうらやましい!私自身大学に毎日通いたいと思いました。(30代 女性)」



本学テレビCMの放映、BGM着メロにて配信中

Broadcasting TV commercial, and download Music Ringtone

「創価大学のことをもっと知ってもらいたい」「一人ひとりの学生がもつ無限の可能性が未来をひらき、世界へひらくことを伝えたい」そのような多くの声新しいテレビCMになりました。

現在、「何のため」編と、「ポートレート」編の2種類のCMが、

①日本テレビ(関東エリア)

②テレビ東京系列6局ネット
テレビ東京/テレビ大阪/テレビ愛知/
テレビ北海道/テレビせとうち/TVQ九州放送

で放送されています。



着うた
配信先

「CMリアルメロディ」

なお、このダウンロードには、1曲105円(税込)の情報料がかかります。各サイトの利用規約をお読みください。



docomo



Softbank



au

第2回教職大学院フォーラムを開催

The 2nd annual graduate school of teacher education forum

8月1日(土)、「第2回教職大学院フォーラム」が学生ホール2階の多目的ホールで開催されました。会場には遠方からの参加者も含め、現職教員、学生など、合わせて130名を超える方が参加されました。東京都教育委員会指導部、連携協力校校長、本教職大学院を3月に卒業した修了生2名がシンポジストとして登壇し、「スクールリーダーを育成する教職大学院の課題」とのテーマでシンポジウムを開催しました。会場では参加者からの質問も多数あり、活発な議論が行われました。



教員免許状更新講習を開催

Teachers license renewal course

教育職員免許法の改正により2009年度から全国の大学等で「教員免許状更新講習」が実施されることになりました。この講習は、教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

本学では8月4日(火)から8日(土)までの5日間、「教育の最新事情」「環境教育」「体づくり運動と食育」「子どもの人権理解と支援」をテーマに本部棟M401教室で実施しました。





平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に採択

Soka program selected under education ministry initiative

文部科学省の平成21年度「大学教育充実のための戦略的
大学連携支援プログラム」(総合的連携型)に帝塚山大学を代
表校として申請した取組「北海道・関東・東海・近畿の大学連携
による「知域」拡大プロジェクト」が採択されました。

<本学の取組概要>

本取組は、大学教育の更なる質の向上を実現し社会に有為
な人材を育成するため、NPO法人CCC-TIESコンソーシアムに
よる教育的連携実績を持つ6大学(代表校:帝塚山大学、連携
校:創価大学、札幌大学、明治薬科大学、愛知学院大学、名古
屋学院大学)が協力して、教育の連携・共有・公開による大学教
育の充実と社会に対する「知域」(知の領域)の拡大を目指すも
のです。

そのために、

1. 連携大学の教育資源の共有(教育コンテンツの共有と単
位互換講義・相互補完講義の推進・授業ビデオの再利用・学
生の大学間交流の促進)
2. 教育の質保証(学士力の実質化・教育の質保証の研究)
3. 大学連携によるFDの充実(授業評価の客観性の担保・教
育成果の共有・教員の意識改革)
4. 教育の公開と知域拡大(講義の一般公開・高大連携・生涯
教育・国際交流)

の事業を行うことで、大学教育の質の向上と人材育成のため、
教育の連携・共有・公開による「知域」(知の領域)の拡大を目指
す内容となっています。また地域経済と文化の活性化を支援し、
知の拠点たる大学の社会的責務を協同で果たして参ります。

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム (就職支援の強化など総合的な学生支援)に採択

Education ministry selects Soka 'career portfolio system' program

文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」
【テーマB】学生支援推進プログラム(就職支援の強化など総合
的な学生支援)に創価大学・創価女子短期大学の取組が共に
採択されました。創価大学は「ポートフォリオ等を活用した進路就
職決定率と満足度向上の取組」が、創価女子短期大学は「U
ターンを中心としたより効果的できめ細やかな就職支援強化の
取組」が選定されました。

<創価女子短期大学の取組の概要>

就職支援として年間を通じてキャリアガイダンス、就職対策講
座、個別相談等を実施し、キャリア意識の醸成と社会や学習に
役立つ汎用性ある基礎的能力を育んできました。その結果、毎
年就職率はほぼ100%を達成し卒業生は各界で有為な人材と

して活躍しています。しかし、近年の就職環境の変化により特に
本学の2/3を占めるUターン就職を中心に苦戦を強いられ、就
職活動の長期化が懸念される状況もあり学生が学業に専念で
きないとの問題も発生しています。本取組ではUターンを中心
により効果的できめ細かな就職支援強化を図るため、

1. 人数制対策講座の充実
2. 出身地別の個別相談の実施とそのためのアドバイザー研修
3. Uターン就職の情報収集とデータベース整備
4. キャリア支援室の拡充

を行い、就職希望者が早期に好ましい進路を決定できることを
目標とします。また本取組は就職の早期決定による学生の学業
への専念と、それによる学士力確保を目指すものです。

前期卒業式

Prior-term Graduation Ceremony

創価大学・創価女子短期大学の平成21年度前期卒業式
が、9月19日(土)に開催されました。この卒業式で、大学院博士
前期課程3名に修士、学部の59名に学士、創価女子短期大学
の10名に短大士の学位記が授与されました。創立者は、「何
があっても、わが胸中に、創価の星を光らせ、負けじ魂の炎を輝
かせながら、前へ前へ、断固として勝ち進んでいってください」と
の慶祝のメッセージを寄せられ、晴れやかな門出となる式典とな
りました。

少年サッカー大会

Annual summer soccer tournament for
elementary school children on Soka campus

9月5日(土)・6日(日)の2日間にわたり、第12回創価大学学長杯
2009サマージュニアカップ(少年サッカー大会)が本学第1グラウン
ドと新設のビクトリーグラウンドで開催
され、八王子市などから小学1・3・5
年生チーム全36チームが参加。選手
達はこれまでの練習の成果を存分に
発揮し、熱戦が繰り広げられました。



主な来学者 Selected list of visitors



6/12 ⑤ ブルガリア
センドフ駐日大使ご一行来学



6/29 ⑤ フィリピン
国立南ルソン大学 セシリア・ガスコン学長
ご一行来学 創立者へ名誉人文学博士号が授
与された

2009年6月・7月・8月



7/14 ⑤ 中華人民共和国
長春工業大学 熙瑩学長ご一行来学



7/15 ⑤ ブラジル
ホンディア連邦大学 ジョゼ・ジャヌアリオ・
アマラウ学長ご一行来学 アマラウ学長に創
大最高栄誉賞を授与



7/17 ⑤ フィンランド
ヨルマ・ユリーニ大使ご一行来学 記念講演
「今日の世界における平和構築—フィンラン
ドの観点—」を開催



8/20 ⑤ 中華人民共和国
障害者芸術団 鄒雨華団長ご一行来学

6/4 ⑤ オーストラリア
ラトローブ大学語学学校 ウィンチェスター所長来学

6/19 ⑤ 大韓民国
「聯合ニュース」ご一行来学

6/30 ⑤ 台湾
国立高雄大学 黄英忠学長ご一行来学 黄学
長に創価大学最高栄誉賞を授与

7/24 ⑤ ウズベキスタン
科学アカデミー芸術学研究所 トゥルグノフ部
長ご一行来学

7/28 ⑤ 大韓民国
済州大学法科大学院 宋錫彦院長ご一行来学

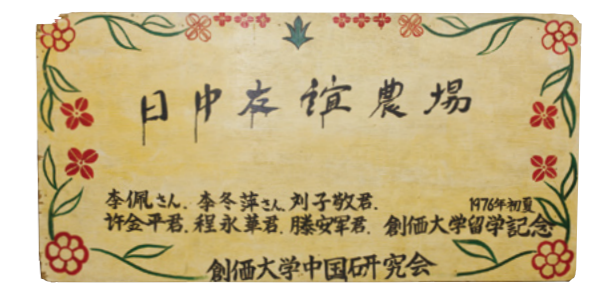
8/24 ⑤ インドネシア
インドネシア大学 イクタット・スラジャヤ事務局
長ご一行来学

創価教育研究所 重宝 「日中友誼農場」

Soka University's Precious Collections

1976年4月、創価大学は初の留学生を中国から6名
受け入れました。日本での生活にも慣れ始めたある日の
こと、留学生は中国では半日は勉強をし、半日は労働を
していたことから、日本でも農作業に取り組みたいことを
大学に要望。当時はキャンパス内にも空き地が多く、現
在の東京富士美術館が設置されている辺りを畑とし、
農作業に取り組みました。そこには日本の創大生も加わ
り、芋や茄子などを栽培。同年6月26日、創立者 池田先
生は日中の学生が共に汗を流している農場を訪れ、そ
の農場を「日中友誼農場」と命名されました。そしてそ
の場で創立者自ら筆を執られ、農場に立てて設置され

ていたベニヤ板に「日中友誼農場」と認められました。
あれから30余年を経た今日、その農場は姿を変えまし
たが、結ばれた「日中友誼の絆」は先輩から後輩へ
脈々と受け継がれています。



経済学検定試験・大学対抗戦4連覇!

Wining "ERE University Opposition Title" 4 consecutive years!

2009年7月5日に行われた第11回経済学検定試験・大学対抗戦におきまして、創価大学経済学理論同好会(経済学部生の有志)が、堂々の4期連続優勝を果たしました。

経済学検定試験・大学対抗戦とは、1チーム5名以上9名以内で登録をすることができ、ミクロ・マクロの2科目における上位4名の合計点で成績を争う対抗戦です。今回本学からは3チームが出場し、そのうちの1チームが優勝に輝きました。

また、個人成績では、全科目受験者108名の中で、本学の三田光洋さん(経済学部経済学科4年)、中井秀幸さん(経

済学部経済学科3年)が同得点で1位に輝きました。

この4連覇という快挙は、過去に早稲田大学が作った記録に並ぶものとなります。今後も経済学理論同好会の活躍にご期待ください。



クラブが大健闘!

Club members making strenuous efforts

この夏、さまざまなクラブが大会に出場し、日ごろの練習の成果を発揮して大活躍しました。

パイオニア吹奏楽団が「都大会本選に」て金賞を受賞、5年連続の成績となりました。

陸上部の松村厚子さん(文学部人間学科1年)が「全国インカレ」(日本学生陸上競技対校選手権大会)の5000mに出場、23位になりました。全国の大学生のトップ選手が集う中、1年生でありながら大健闘の成績です。

プライド・オブ・ソウカが「マーチングバンド・バトントワリング全

国大会」にてシニアドラムコー部門で第3位に輝きました。

柔道部は「東京学生柔道体重別選手権大会」に出場。男子60キログラム級で大野直己さん(法学部法律学科3年)が、男子100キログラム級で金子博史さん(経営学部経営学科2年)がベスト16に進出、さらに女子57キログラム級で秋山藍里さん(法学部法律学科2年)がベスト8進出を果たしました。

剣道部は「関東学生剣道優勝大会」でベスト16に進出、見事全国大会への出場権を獲得しました。

今年もスピーチコンテスト開催!

Speech Contest

学術系クラブが主催する本学伝統のスピーチコンテスト。前回にもまさる勢いのコンテスト開催を目指し準備に取り組んでいます。今年も「知性の舞台」で熱い戦いが繰り広げられます。

●全日学生英語弁論大会 第15回 池田杯

【開催日時】平成21年11月7日(土)

●第18回 創立者杯ドイツ語弁論大会

【開催日時】平成21年 11月8日(日)(午後1時予定)

●第17回 創価大学創立者杯 ハングルスピーチコンテスト

【開催日時】平成21年 11月14日(土)

●第36回 創価大学創立者杯 中国語弁論大会

【開催日時】2009年11月15日(日) 13:00~

●第18回 創価大学創立者杯 スペイン語弁論大会

【開催日時】平成21年11月28日(土)午前11時開始(予定)

●第28回 創価大学創立者杯フランス語弁論大会

【開催日時】平成21年11月29日(日)11時~

●第19回 創価大学創立者杯 スワヒリ語スピーチコンテスト

【開催日時】2009年12月5日(土)

●第5回創価大学創立者杯 日本手話スピーチコンテスト

【開催日時】平成21年 12月6日(日) 13時~

●第8回 モンゴル語スピーチコンテスト

【開催日時】12月12日(土)

●第19回 創価大学創立者杯 ロシア語スピーチコンテスト

【開催日時】12月13日(日)





ニュープリンスホールがリニューアルオープン!

Newly renovated "New Prince Hall" open!

ニュープリンスホール(大教室棟1F)は、「安全・安価・美味しさ」をテーマに、すべてのメニューで国産の食材を使い、可能な限り手作りを目指して調理しています。日替わり定食、うどん、丼ぶり、小鉢料理、一品料理、サラダ、デザート、手作りパン、ソフトクリームと人気のメニューをさらに充実させました。女性限定のレディースセットもご用意。是非、一度、ご賞味ください。(営業時間 月～金 10:00～20:00)



カツカレー 400円



カレー・デミポークあいがけ 400円



若鶏のキジ焼き丼 (スープ付) 350円



豚肉の変り揚げ丼 (スープ付) 350円



定食各種(ご飯、スープ付) 450円
(ランチタイムのみ 11:00～13:30) ※写真はチーズカツカツ定食

どれも安くて
オイシイデス!



一品料理 各300円



若鶏の南蛮漬け



白身魚のもと焼き



ハンバーグ



鯖の塩焼き

かけうどん 200円



天ぷら各種 90円



小鉢各種 80～100円

日替わりパスタ(ミニトースト、ミニサラダ付) 350円



ミートソース



トマトと野菜のパスタ



手作りパン各種 105～162円



デザート各種 160円
※写真はいずれもシフォンケーキ



デザート各種 160円
※写真はいずれもシフォンケーキ

11月2日(月)から、公募推薦入試試験の出願が始まります!

(創価女子短期大学は10月28日(水)から)

創価大学 SOKA University

公募推薦入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成21年11月2日(月)～11月10日(火)
試験日	平成21年11月21日(土)
合格発表日	平成21年12月2日(水)

センター試験利用入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成22年1月4日(月)～1月15日(金)
試験日	平成22年1月16日(土)・17日(日)に 実施される大学入試センター試験を受験
合格発表日	平成22年2月8日(月)

※大学入試センター試験の出願期間は、平成21年10月1日(木)～14日(水)です。(センター試験利用入試を出願される方は、本学への出願受付の他に、あらかじめ大学入試センター試験の出願が必要です)

センター試験利用入試の検定料に特例措置! —検定料が一部、無料になります—

センター試験利用入試を一般入試と同じ学科に同時に出願する場合に限り、その学科分のセンター試験利用入試の検定料が無料になります。

※同時に出願しても、一般入試と別の学科に出願した学科分の検定料は有料になります。また、一般入試と別々に出願した場合は、一般入試と同じ学科でも検定料は有料になりますのでご注意ください。(詳細は平成22年度入学試験要項を参照してください)

一般入試

出願期間 (郵送のみ・締切日消印有効)	平成22年1月4日(月)～1月28日(木)
試験日	平成22年2月13日(土) 経済学部 経済学科/法学部 法律学科/教育学部 教育学科・児童教育学科 平成22年2月14日(日) 経営学部 経営学科/文学部 人間学科 平成22年2月15日(月) 工学部 情報システム工学科・生命情報工学科・環境共生工学科
合格発表日	平成22年2月22日(月)

創価女子短期大学 SOKA Women's College

公募推薦入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成21年10月28日(水)～11月6日(金)
試験日	平成21年11月14日(土)
合格発表日	平成21年11月20日(金)

一般入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成22年1月4日(月)～1月22日(金)
試験日	平成22年2月5日(金)
合格発表日	平成22年2月12日(金)

平成22年度入試要項(願書)配布中!!

創価大学、女子短期大学の入試要項(願書)をご請求いただけます。請求方法は以下のとおりです。また、受験生用パンフレット「キャンパスガイド2010」も、こちらでご請求いただけます。ご希望の方はぜひご利用ください。

キャンパスガイドや入試要項(願書)のお申し込みは…

テレメールが便利です。

以下に電話し、資料番号等を登録してください。

IP電話番号 **050-2015-0555**

※IP電話への通話ができない場合および話し中の場合は、06-6222-0102へおかけください。

資料番号

「入試要項(願書)」…………… 160189(短大174150)

「過去の入試問題集(1年間分)」…………… 157070(短大含む)

「大学キャンパスガイド2010」…………… 151891(短大154151)

●インターネット・携帯電話(<http://telemail.jp>)からも請求できます。



Information

創価大学・キャンパスブログ

創価大学の現役学生や教職員がブロガーとなって、受験生のみみなさんに向けて、「よりリアルな大学情報(生の声)」を楽しく賑やかに紹介し、創価大学のことをもっと身近に感じていただけるようになっております。インターネットや携帯電話からでもアクセスできますので、ぜひ創価大学の「今」を感じてください!

アクセスはこちらから <http://admission.soka.ac.jp/campus-blog/>

創大ホームページ 丹木の歳時記より Snapshots from Tangi



「文学の池」と蓮



「出発の庭」近くの高砂百合

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆様の声を募集しております。感想などがありましたら、以下までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。 ※皆様からいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。 FAX:042-691-9300 E-mail:hiroba@soka.ac.jp



Soka University News 63号

●編集発行/Soka University News 編集委員会 ●発行責任者/田代 康則 ●編集長/鈴木 正宣

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300 ホームページ/ <http://www.soka.ac.jp> 2009年10月10日発行